

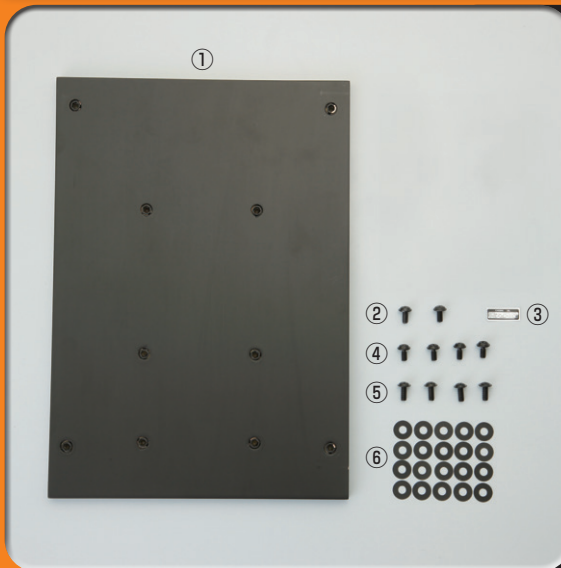
## 今号の作業

# ディスプレイベースを組み上げる



今号では、ディスプレイベースのフレームを組み上げる。56号で組み立てたフレームの左半分に、これまでに保管していたベースフレーム用パーツを合わせて完成させる。このディスプレイベースは単なる“飾り台”ではなく、赤外線による双方向通信システムと大口径スピーカーが組み込まれた、本モデルのギミック制御装置となる。

### 今号のパーツ



- ① ベースフレーム8×1
- ② 4×9mmワッシャー付きビス×2
- ③ オイルタンク用ステッカー×1
- ④ 4×9mm段付きビス×4
- ⑤ 4×10mmワッシャー付きビス×4
- ⑥ シムワッシャー×20

※②③⑤は今回使用しないので、大切に保管しておこう。

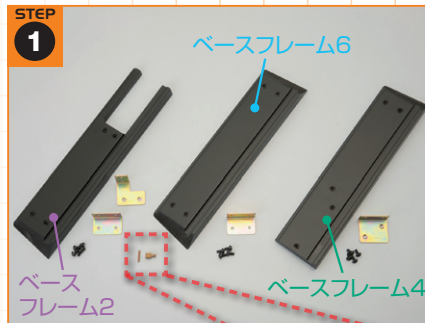
#### 用意するもの

- ・多用途接着剤(「セメダイン スーパー-X-G」を推奨)
- ・ベースフレーム・左側(56号で組み立てたもの)
- ・連結ピン(52号で提供したもの)
- ・ベースフレーム9×1(56号で提供したもの)
- ・ベースフレーム2×1(57号で提供したもの)
- ・ベースフレーム6×1(58号で提供したもの)
- ・ベースフレーム4×1(59号で提供したもの)
- ・メタルクリップB×1(57号で提供したもの)
- ・メタルクリップE×2(57号と58号で提供したもの)
- ・メタルクリップC×1(59号で提供したもの)
- ・ツマミ付きビス×1(56号で提供した2本のうち残りの1本)
- ・4×9mmワッシャー付きビス×14(57, 58, 59号で各4本ずつ提供した合計12本と、52, 54, 55号で各4本ずつ提供した合計12本のうち残りの2本)

#### 使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(2番)

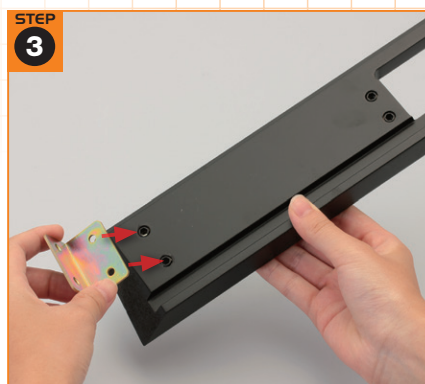
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



57号、58号、59号で提供した各パーツを用意し、写真と照らし合わせて確認しよう。今号で使用するビスは、④4×9mm段付きビス(4本)と、4×9mmワッシャー付きビス(計14本)だ。なお、52号で提供した「連結ピン」も使用するので用意しておこう。



写真・右が56号で提供したベースフレーム9。左が今号で提供したベースフレーム8だ。表面のビス穴の配置が異なっているので、しっかりと確認しておこう。



57号で提供したベースフレーム2の裏面・左端に、メタルクリップEを写真の向きでセットする。



4×9mmワッシャー付きビス2本をビス穴にセットし、2番の+(プラス)ドライバーを使ってメタルクリップEを取り付ける。なお、以降の工程で使用するドライバーのサイズはすべて「2番」で、ビスは軽くねじ込んだ“仮組み状態”にすること。



メタルクリップEの取り付け加減は、手で動かしたときにカタカタと動く程度にする。動かない場合はビスを少し緩めて調整しよう。以降の工程で取り付けするすべてのメタルクリップも同様だ。



STEP 6  
4×9mm  
段付きビス

ベースフレーム2の裏面の向きを変え、④4×9mm段付きビス2本を使って、メタルクリップBを写真の向きで取り付ける。このときも、メタルクリップBがカタカタ動く程度に調整する。



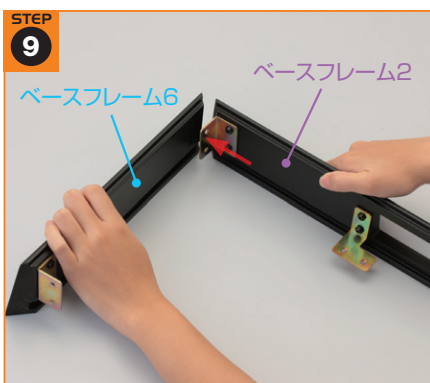
STEP 7

58号で提供したベースフレーム6の裏面・左端（※写真のベースフレームは、上下が反対になっている）にも、メタルクリップEをセットする。



STEP 8  
4×9mm  
ワッシャー付きビス

ワッシャー付きビス2本をビス穴にセットし、ドライバーでメタルクリップEを取り付ける。



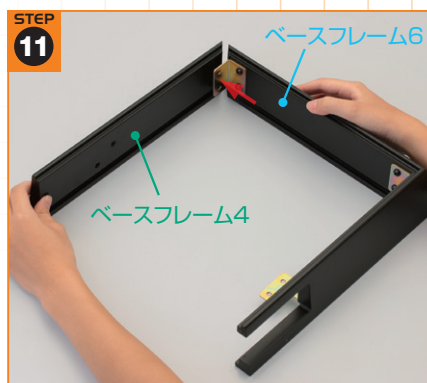
STEP 9

ベースフレーム2と6を写真のように組み合わせる。



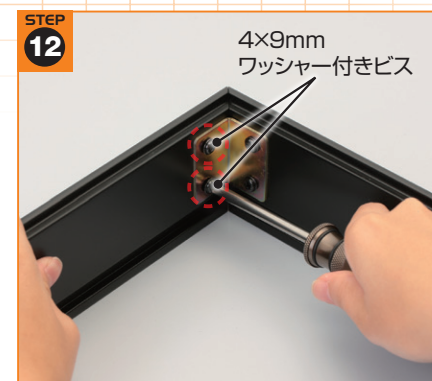
STEP 10  
4×9mm  
ワッシャー付きビス

ワッシャー付きビス2本を使い、ベースフレーム2と6を連結する。ビスは緩めに締め込む。



STEP 11

ベースフレーム6の左端に、59号で提供したベースフレーム4を組み合わせる。



STEP 12  
4×9mm  
ワッシャー付きビス

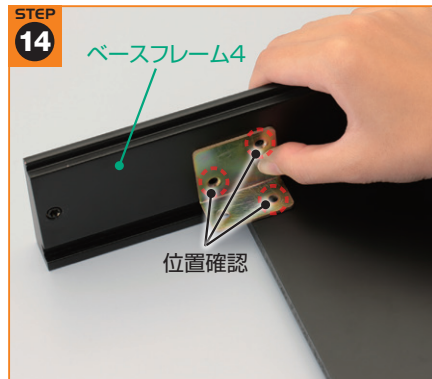
ワッシャー付きビス2本を使い、ベースフレーム6と4を連結する。ビスは緩めに締め込むように。

STEP  
13



56号で提供したベースフレーム9を用意し、ベースフレーム2、4、6の内側の溝へ、写真のようにスライドさせながら差し込む。その際、ベースフレーム9の向きは、4カ所のビス穴が写真の位置になるようにする。

STEP  
14



メタルクリップCをベースフレーム4にセットする。クリップの向きは写真で穴の位置を確認しよう。

STEP  
15



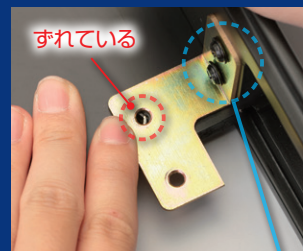
段付きビス2本を使って、メタルクリップCをベースフレーム4に取り付ける。

STEP  
16



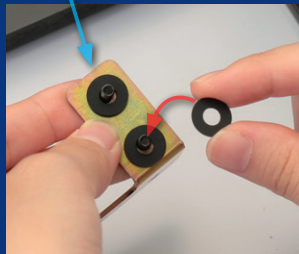
ワッシャー付きビス1本を使い、ベースフレーム4とベースフレーム9を連結する。

ベースフレーム7、または9のビス穴とメタルクリップの穴が写真のようにずれている場合は、メタルクリップの“外枠になるフレームに取り付ける面”の裏側とベースフレームの間に⑧シムワッシャーを数枚入れて調整しよう。

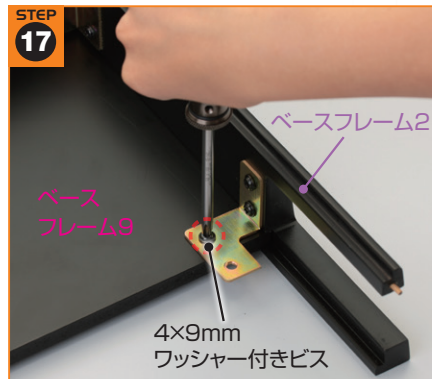


ベースフレームは木製なので、穴位置などが若干ずれる場合がある。

メタルクリップの裏面にシムワッシャーを数枚入れて厚みを設け、メタルクリップの穴位置を内側にずらしてベースのビス穴に合わせる。



STEP  
17



写真に示したメタルクリップBのビス穴にもワッシャー付きビス1本をねじ込み、ベースフレーム9とベースフレーム2を連結する。

STEP  
18

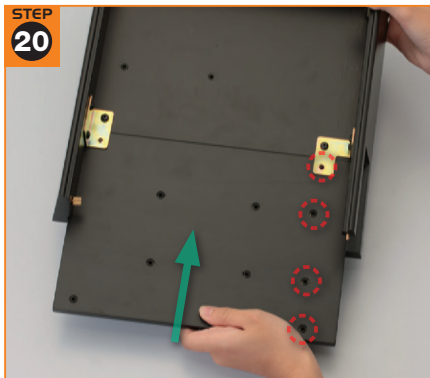


ベースフレーム4の裏面・左端のビス穴に、56号で提供したツマミ付きビスを軽くねじ込む。

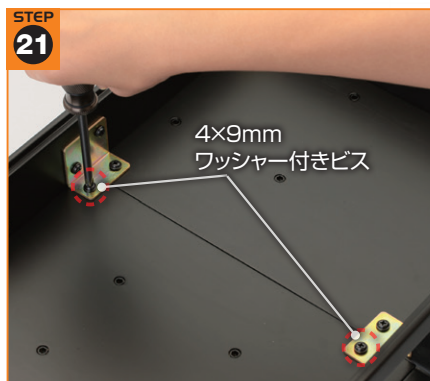
STEP  
19



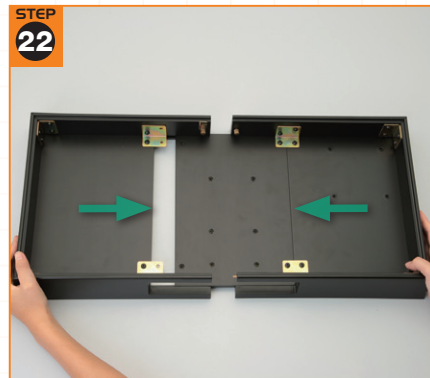
52号で提供した連結ピンを用意し、片側(どちら側でも良い)の先端に多用途接着剤を少量塗布する。そして写真で示したベースフレーム2の穴へ、連結ピンを差し込む。多用途接着剤を塗布した側を差し込もう。



STEP 20  
①ベースフレーム8を用意し、ベースフレーム9と同じようにベースフレーム2と4の内側の溝へ差し込む。差し込む向きは、4カ所のビス穴が写真で示した側になるようにする。



STEP 21  
ワッシャー付きビス2本を写真の2カ所に取り付け、ベースフレーム8を連結する。



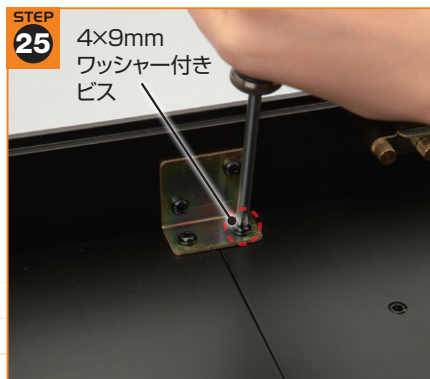
STEP 22  
56号で組み立てたベースフレームの左半分を用意し、写真のようにスライドさせながらはめ合わせる。



STEP 23  
ベースフレーム2に差し込んだ連結ピンの反対側を、ベースフレーム1の穴に合わせ、そのまま真っすぐに左右ベースフレームを押し込んで連結させる。このときは連結ピンに接着剤を付ける必要はない。



STEP 24  
ベースフレーム3に取り付けてあるメタルクリップDを回し、先端部の切り欠きをベースフレーム4のツマミ付きビスのねじ部分にはめ込む。その後、両方のツマミ付きビスを締め込んで、メタルクリップDを固定する。

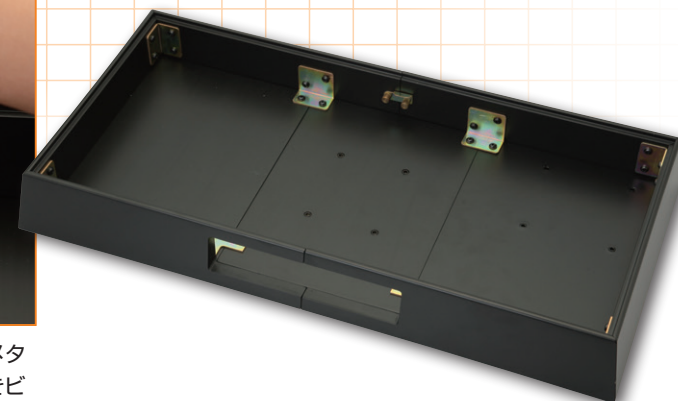


STEP 25  
56号でベースフレーム3と7に取り付けたメタルクリップCのビス穴にワッシャー付きビス1本をセットし、ドライバーでねじ込んでベースフレーム8を連結させる。



STEP 26  
56号でベースフレーム1に取り付けたメタルクリップAのビス穴にもワッシャー付きビス1本をセットし、ドライバーでねじ込んでベースフレーム8とベースフレーム1、7と連結する。最後に、ベースフレームが長方形になるよう歪みを修正し、すべてのビスをしっかりと増し締める。

### 今号の完成



これでディスプレイベースのフレームが完成した。各フレームパーツの連結部分、特に四隅にすき間が開いていないかを確認し、歪んでいる場合は修正しておこう。真上から見たとき「長方形」になっていればOKだ。ポイントは、ワッシャー付きビスの締め込み加減で、それによってフレームの歪みを修正することができる。組み立てたベースフレームは、次の作業に備えて大切に保管しておこう。